

# 外部検証委員会（産業分野）次第

日時 令和元年 11 月 25 日（月）午後 3 時から  
場所 益子町役場 2 階大会議室

1 開会

2 出席者紹介

3 配布資料の確認

4 案件

(1) 概要説明（産業建設部長）

(2) 施策ごとの検証（シート毎ではなく、各施策・複数課のシートに渡り質疑）

(3) その他

5 閉会

## 外部検証・意見シートの提出について

既にお配りしている「様式 2 外部検証・意見シート」につきまして、本委員会終了後 10 日を目安に、返信用封筒をご利用いただきご回答をお願いします。

新ましこ未来計画外部検証委員会（産業分野）議事録

日時	令和元年 11 月 25 日(月) 15:00~16:30	
場所	役場 大会議室	
出席者	委員	佐久間委員(欠)、鈴木委員、萩原委員、宮崎委員
	職員	池田産業建設部長、大塚農政課長、福田観光商工課長
	事務局	佐藤係長、深谷
配布資料	次第、推進状況総括シート、推進シート	

発言者	発言要旨
産建部長	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 出席者紹介</li> <li>3. 配布資料確認</li> <li>4. 案件</li> </ol>
委員	(1) 概要説明
産建部長	成果指標の町内総生産のもっと新しい数値は出ないのか。
産建部長	県が公表するが 3 年間のタイムラグがある。今のところ直近が H28 である。年間増加率でみると H27 から H28 にかけて 4.25%の増加、金額は 21 億 6 千万円増加した。
委員	増加の要因は分析しているか。道の駅オープンもタイミングとしては含まれるか。
産建部長	道の駅のオープンが H28 年 10 月であるため含まれる。
委員	<p>(2) 施策ごとの検証</p> <p><b>○P.32 施策 1 農業生産体制の整備</b></p> <p>集積率の目標達成はしているが、新規就農給付金の財源が枯渇状態だと新聞で見た。財源がなくなり給付金が受けられなくなると、新規就農希望者の意欲が薄れていくのではないかと危惧している。県や国へ要望をしていただくほか、申請者ポイントアップを図るなど、給付金がもらえるよう対応をしていただきたい。年齢要件を 55 歳まで上げたことも影響しているようだ。</p>
農政課長	農業新聞で記事を確認している。この給付金は新規就農者には不可欠な重要な制度なので、県や国に要望していきたい。
委員	具体的な支援内容について知りたい。兼業も可能か。

委員	最大で年 150 万円が最長 5 年間受けられる給付金である。1 年目はほぼ満額、2 年目は所得に応じて給付となる。専業のみが対象となる。
	<b>○P.34 施策 2 地域農産物の販路開拓</b>
委員	道の駅来場者数は、目標に沿って進んでいる。
委員	観光客向けにいちご狩りをやっているが、いちごだけでなく梨やブルーベリー等 1 年を通して観光客向けの収穫体験ができるような働きかけが道の駅からできれば、より来場者が増えると思う。果樹部会に声はかけているが、なかなか実現に至らない。
農政課長	道の駅が好調なおかげで、JA いちご団地でもいちごが足りなくなっていた。果樹部会では継承事業の検討を始めている。後継者不足が大きな問題であり、果樹産地協議会にて継承の方法を模索している。最近着任した地域おこし協力隊 2 名のうち 1 名は継承のプランを担当、もう 1 名は道の駅の生産部門を担当し、店頭の農産物の安定供給を目指していく。
委員	果樹農家の後継者不足により継承する方の支援をしているのか。
農政課長	既に、すぐに辞めたいというぶどう農家もあり、後継者が見つかるまでは農政課で手伝いを行うこととした。
委員	北益子の梨農家では新しい方が承継している。観光客の受入れもしている。観光農園は、需要はあるが供給がないのもったいない分野だ。受け入れる農家がいたとしても、農園まで行くまでの道が分かりにくい等の課題がある。果樹は定植してから収穫まで時間がかかるので、ゼロから作るよりも継承した方がよい。
産建部長	果樹は町の資産である。行政としてしっかりと繋いでいきたい。
	<b>○P.36 施策 1 商店の活性化と起業支援の充実</b>
委員	足銀の近くにバイクが止まっている店がある。以前よりも集客が良いのかと感じているが、ターゲットが明確なので仲間が立ち寄りやすいような空間である。ああいふ店が増えると良いと思う。
観光商工課長	週末はバイクが数台停められており、県外からの集客も良いと聞いている。
委員	町全体での空き店舗の数は把握しているか。空き店舗がバンク化されると新規出店もしやすい。併用住宅も町内には多いと思うが。
観光商工課長	町全体では把握していない。

産建部長	空き店舗が情報化されないのは借地や併用住宅が多いことも影響しているかもしれないが、今後整理していきたい。
	<b>○P.37 施策2 ものづくりの育成・支援</b>
委員	ブランド認定の基準の設定が進んでいないと把握しているがどのような状況か。
観光商工課長	観光戦略会議ブランディング部会のなかでロゴ等を検討している。
委員	今年度中に検討するという事か。
観光商工課長	そのとおりである。制度確立がまずは重要である。
委員	ブランド商品を認定しようという話はあるのか。
観光商工課長	ものとしてはまだない。現在は、町のイメージをつくり、町のイメージに合うかが基準になる。部会ではデザイナーとの協議を始めたところであり、年度内に固め、認定制度の素案が出来れば良いと考えている。
委員	土台が決まらないと誰も手を出せない。早急に進めないと計画期間内に間に合わないのではないかと感じている。
事務局	計画の進め方として、目標値の下方修正は基本的に行っていないため、16件を認定する目標は変わらない。
委員	ブランド商品の対象は農作物、加工品、工芸品等が考えられるが、農産物であれば有機栽培等のこだわり条件を作ればよい。また、加工品では益子産の原料を何割配合等、工芸は既にある伝統マークを付けるなど付加価値が生まれるようなものが良いだろう。
委員	農産物では共和加工の堆肥を使用しているという条件も考えられる。エコ、町内循環といったイメージを与えられる。
委員	世界的に持続可能な社会を作るという考え方が注目されているが、益子にはこういった考えが根付いている部分があるので、これを条件に使うことも良い方向性だ。
	<b>○P.38 施策3 「世界一」人が集う焼きものの町づくり</b>
委員	益子焼販売額の数値は、まだ出ないか。

事務局	3年に1回の調査であり、今年度中に調査を行い来年度初めに結果がでる。
委員	ボテアンドスツトの流通は順調か。
観光商工課長	町内では道の駅のみで販売している。売り上げもあると聞いている。都内ではMUJIホテル等無印良品関連に限定して扱いはある。売り上げは販売店組合で管理しているが、販売条件が合えば、将来的にはどこでも可能となるかもしれないが、現在は限定販売を行っている。
委員	益子焼を好む方は、以前は年配者が多い印象だったが、近年は若い女性が増えている。そのため、好みのデザインを作れば新しい客層を得られるのではないか。
産建部長	益子焼は、作家さんが好みのものを作るという側面がもともとあるが、マーケティングに基づいた売れ筋商品を作ることも重要である。ポイントカードシステムとの連携が図れると益子焼の客層が見えるため理想である。
観光商工課長	益子焼販売店では、ターゲットを絞った店内レイアウトを実践している店舗もあり、各店舗での工夫も必要と思われる。
産建部長	閑散期の集客も町として考えないといけない課題の一つだ。個人的な考えだが、例えば、バレンタインに女性が彼に手作りの益子焼をプレゼントするという企画を作ると11月の陶器市後の閑散期を狙ったツアー商品になる。その後の関係性が保たれるような関係人口創出を視野に入れた企画が益子ならできると思う。
委員	このようなアイデアは作家さんにどうやって伝えるかが課題になると思う。
委員	陶芸体験の施設であれば実現可能、一般の工房でも交渉により可能な場合がある。実際に自分の結婚式用に一般の工房に通い、植木鉢を制作したことがある。
委員	<b>○P.39 施策4 就労支援と雇用創出</b> 林道生田目線は町有林か。
事務局	町有林も一部あると思われる。
委員	植えた桜もなかなか咲かないので、もう少し整備ができれば集客も望めると思うが。以前果樹農家がリンゴを作っていたが、今はミカンが植えてある。
観光商工課長	写真を撮りに来る方はいる。
委員	雲海は見られないか。

農政課長	見えると一つの見どころになる。
委員	有効求人倍率は例年より高いようだが。
観光商工課長	月によってばらつきがあるので、4月で比較すると低めだが順調にいけば年度目標値はクリアできる見込みである。
	<b>○P.40 施策1 観光客誘客の拡大</b>
	質問なし
	<b>○P.42 施策2 外国人観光客（インバウンド）の誘客</b>
委員	観光協会でインバウンドに積極的に取り組もうとしているメンバーで里山協議会を組織し、商品やプロモーションを企画している。来春には町内をめぐるツアーを実施し、3月には、イギリス・台湾に営業を予定している。観光戦略会議の動きもあるので、各団体で情報共有しながら進めていきたい。
委員	私も里山協議会の会議に出席したが、外国人と益子町民では認識が異なるので、事前にはリサーチが必要だと感じた。外国人が益子のどういうところに興味を持っているか知る必要がある。それによりパンフレットの作り方、見せ方も違ってくる。
委員	外国人の受け入れには、言語対応が必要となり、看板等は行政で進めているが、民間の受け入れ施設も言語対応が可能となれば外国人にとって使いやすい。電話での三者間通話等、県のサービスにより無料で使用できるものもある。1台2万円程度のポケットが便利である。弊社でもガイドツアーを予定しているが、現体制では足りない。宇大の留学生でドイツ出身のスタッフが週2回来ている。町内 ALT 等のスタッフが登録できるとより多くのツアーが設定できる。
委員	いちご狩りへの外国人来場者は、日本人が多いバスツアーに交じって来場したり、レンタカーでの来場もある。1シーズンで100人以上と思われる。
委員	外国人観光客宿泊者数が KPI となっているが、益子の夜は真っ暗になってしまう。何か楽しめるような取組みはあるか。
観光商工課長	飲食店も少ないので、夜の企画が民間から出れば情報発信を考えていきたい。
委員	天体観測施設もある。
観光商工課長	宿泊者と連動した形で、もっと活用できるように PR していきたい。

産建部長	ホタル、サワガニが見られるという情報がある。
委員	前沢や西明寺でホタルが見られる。観光資源になるとよい。  <b>(3) その他</b> 外部検証・意見シートは10日間程度を目安に、本日または後日ご提出お願いいたします。  <b>5. 閉会</b>